AIデマンドタクシーの実証実験について（案）

資料２

■ コミュニティ交通の利便性向上の施策として、新たな移動手段の導入を進める。本年度は、産学官によるＡＩデマンドタクシーの実証実験を実施予定

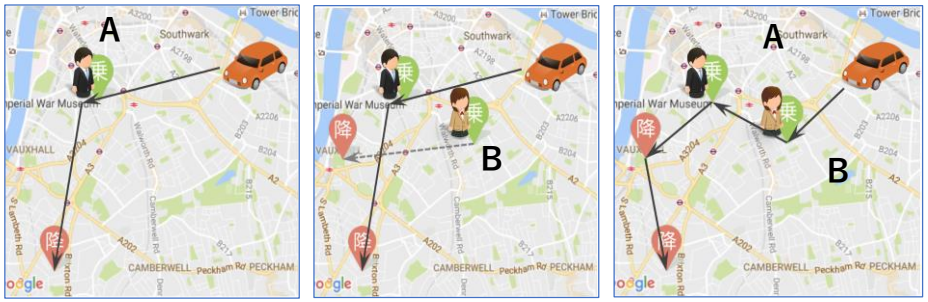
１．AIデマンドタクシーとは

AIを活用した効率的な配車により、利用者予約に対し、リアルタイムに最適配車を行うタクシー。スマホのアプリなどに行き先を入力すると、同じ方向に行きたい人と組み合わせて配車を行う。

① 乗客Aから迎車依頼

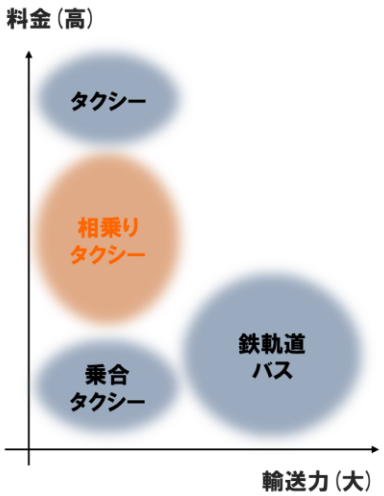
② 別の乗客Bから迎車依頼

③AIがルートを計算 乗客ABが乗合



▲R元年度コミュニティ交通部会資料

２．既存公共交通ネットワークとの整合



■ 料金はタクシーより安く、鉄軌道・バス・コミュニティー交通より高い

■ 相乗りだが、タクシーと同等の機能であり、ドア・ツー・ドアの移動が可能

既存の公共交通と競合しない

新たな移動手段の可能性

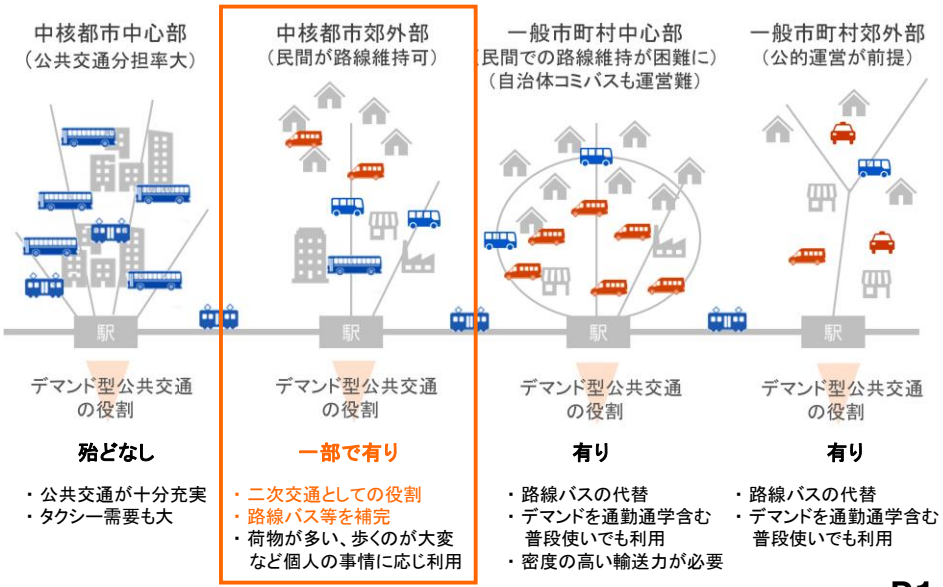
３．期待される効果

「三方よし」の関係



日常生活に必要なきめ細やかな移動手段の確保

４．デマンド交通のエリアにおける役割



▲ Next Mobility Co Ltdの資料（一部加工）

AIデマンドタクシーの実証実験について（案）

■ 既存公共交通を補完し、効率的な運行を可能とするAIを活用した新たなコミュニティ交通の実証実験を行い、今後のコミュニティ交通としての可能性を検討
■ 商店街と連携し、アプリ内で各種サービスのクーポン発行を行い、地域での消費活動を促進

1.目的

- 地域拠点等における既存の公共交通を補完するドアツードアの移動手段を導入し、熊本市の公共交通の活性化を図る
- 相乗りタクシーの可能性を市民に体感してもらい、熊本での導入可能性を検討

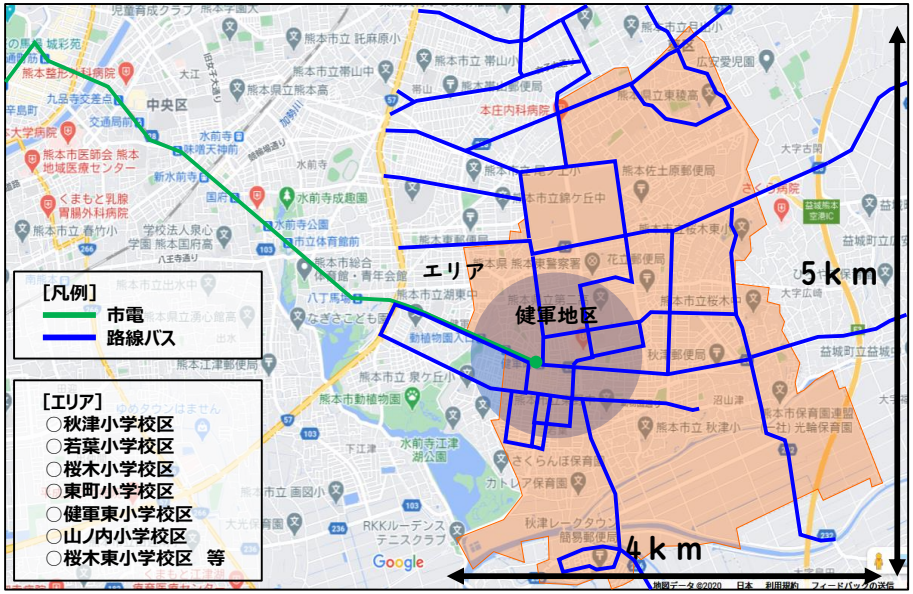
2.日時

令和3年 秋頃（1～2ヶ月程度）　平日7：00～20：00（調整中）

3.エリア　健軍地区周辺

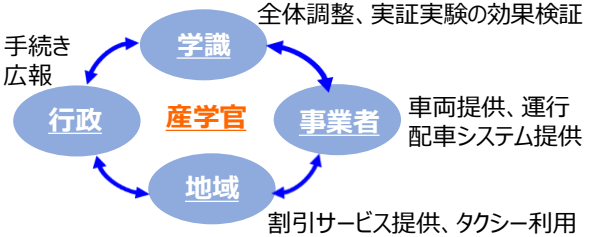
［エリアの特徴］

○健軍電停がある（交通結節点）　○商店街があり人の動きがある
○観光地（江津湖等）がある　○中心市街地から一定の距離がある
○商業・医療・行政等の施設が集積　など



4.実施主体　健軍地区 AIデマンドタクシー実証実験実行委員会

・熊本学園大学
・熊本大学
・タクシー事業者
・配車システム事業者
・モビリティサービス事業者
・健軍まちづくり協議会
・熊本市



5.利用者

- 「モニター公募」及び「一般市民」を想定（通勤、通学、通院、買い物など）
- タクシーを利用したいが料金が高いと感じている人

6.概要

内容	R3年度実証実験（案）
運行車両	タクシー
路線・便数	フリー　（タクシーと同等）
車両数	2 台常時 ※繁忙時間帯は別途応援
システム	■配車システム　Web・電話、リアルタイム・事前の予約が可能 ■決済方法　クレジットカード、電子マネー、現金での支払いが可能
料金	バス・市電とタクシーの間の料金（通常タクシー料金の50%引き等）

7.今後の予定

項目	R３年度		
	夏頃	秋頃	実験以降
関係者協議	適宜打合せ	社会実験	
許認可申請	申請手続		
効果検証			検証